

大学評価文化の定着 —日本の大学は世界で通用するか？

編著：独立行政法人大学評価・学位授与機構



- 大学が国際化を進めるために、具体的にその変わるべき姿、方向性を示します。
- これまでの評価事業・学位授与事業をさらに発展させ、国際化への道筋を解説します。
- 真の国際化へと羽ばたくために、グローバル時代の大学を考証します。

A5版・定価（本体2,400円＋税）

発行元：株式会社ぎょうせい

<http://www.gyosei.co.jp/>

目次

第一部 大学の国際化とは

第1章 社会のパラダイム・シフトとグローバル化そして大学改革

- 第1節 グローバル化と国際化
- 第2節 知識社会が求める能力
- 第3節 日本の大学が世界に通用するために

第2章 学びを突らせる教育

- 第1節 「教育から学習へ」という転換
- 第2節 アクティブ・ラーニングとは
- 第3節 学習者中心の授業における教員の役割
- 第4節 これからの学びにおける教員のあり方—MOOCとは？

第3章 日本の大学の国際化の現状

- 第1節 何のために国際化を推進するのか
- 第2節 「質を伴った」国際化の取組状況
- 第3節 海外大学との共同プログラム
- 第4節 国際化の成果と課題

第二部 大学の国際化とその質保証

第1章 大学機関別選択評価「教育の国際化の状況」について

- 第1節 基準・観点
- 第2節 分析にあたっての留意点
- 第3節 評価の実施体制・方法とスケジュール
- 第4節 選択評価事項Cの水準評価—水準判定のガイドライン

第2章 国際的な動向

- 第1節 アメリカ合衆国における大学国際化評価
- 第2節 ヨーロッパにおける国際化評価等手法の発展
- 第3節 国際大学ランキングとつきあう

第3章 CAMPUS Asia

- 第1節 キャンパス・アジア構想
- 第2節 日中韓質保証機関協議会
- 第3節 「キャンパス・アジア」パイロットプログラムのモニタリング

第4章 国際的な学習成果アセスメント OECD-AHELO フィージビリティ・スタディ

- 第1節 AHELO-FS の目的と概要
- 第2節 工学分野の取組
- 第3節 参加国の状況
- 第4節 AHELO の成果と展望

第三部 国際通用性を確保するために

第1章 情報発信と情報分析

- 第1節 大学ポートレートによる大学情報の発信と活用
- 第2節 UNESCO 地域条約とナショナル情報センター
- 第3節 学位・学習歴の認証

第2章 学習成果の国際通用性を担保するために

- 第1節 学習成果はどのように捉えられているか？
- 第2節 学習成果をあげるためのカリキュラム
- 第3節 人材像とカリキュラム
- 第4節 鍵は養成される人材像：調査をまとめるとわかること

第3章 国際通用性を視野に入れた教育改善・向上に向けた質的転換

- 第1章 多文化環境下での教育
- 第2章 大学自身の努力による質的転換
- 第3節 制度・政策レベルの質的転換

参考資料